

問161

春の訪れとともに、色鮮やかな【 難人形 】を床の間に飾る。

(ア) 難人形

(イ) 難人形

(ウ) 生人形

問162

端午の節句に、青空高く元気に泳ぐ【 里のぼり 】を立てる。

(ア) 生のぼり

(イ) 里のぼり

(ウ) 鯉のぼり

問163

春分の日、ご先祖様への感謝を込めて【 お彼岩 】参りをする。

(ア) お彼岩

(イ) お彼生

(ウ) お彼岸

問164

暑中見舞いの手紙を送り、相手の【 安否を気造う 】。

(ア) 安否を気造う

(イ) 安否を気生う

(ウ) 安否を気造う

問165

秋の収穫を神様に感謝し、神社で【 豊作祈顔 】の祭りが行われる。

(ア) 豊作祈生

(イ) 豊作祈顔

(ウ) 豊作祈願

問166

冬至の日、風邪を引かないように【 油子湯 】に入って身体を温める。

(ア) 柚子湯

(イ) 油子湯

(ウ) 生子湯

問167

お正月の食卓を彩る、彩り豊かな【 お切料理 】を重箱に詰める。

(ア) お切料理

(イ) お節料理

(ウ) お生料理

問168

新春の書き初めで、心を落ち着かせて【 筆を鳥る 】。

(ア) 筆を執る

(イ) 筆を鳥る

(ウ) 筆を生る

問169

夏の夜空を彩る、大輪の【 華火大会 】を河原で見上げる。

(ア) 華火大会

(イ) 花火大会

(ウ) 生火大会

問170

秋の紅葉狩りに出かけ、山一面が赤や黄色に【 染まる 】景色を楽しむ。

(ア) 山が真まる

(イ) 山が染まる

(ウ) 山が染まる

問171

秋の紅葉狩りに出かけ、山一面が赤や黄色に【 色着く 】景色を楽しむ。

(ア) 色着く

(イ) 色生く

(ウ) 色付く

問172

立春を迎え、【 歴の上 】では【 春の始まり 】となる。

(ア) 歴の上

(イ) 暦の上

(ウ) 生の上

問173

五月晴れの爽やかな風を受けながら、【 新草 】を美味しく味わう。

(ア) 新茶

(イ) 新生

(ウ) 新草

問174

敬老の日、長寿を祝って家族みなで【 祝い善 】を囲む。

(ア) 祝い善

(イ) 祝い膳

(ウ) 祝い生

問175

大掃除で一年の埃を払い落とし、清々しい気持ちで【 迎え春 】の準備をする。

(ア) 迎春

(イ) 迎え春

(ウ) 生春

問176

十五夜の月見団子をお供えし、秋の味覚である【 理芋 】を添える。

(ア) 生芋

(イ) 理芋

(ウ) 里芋

問177

春の七草粥を炊いて、お正月の胃腸を【 老わる 】（いたわる）。

(ア) 労わる

(イ) 老わる

(ウ) 生わる

問178

地元の秋祭りで、威勢のいい掛け声とともに【 神興 】（みこし）が練り歩く。

(ア) 神生

(イ) 神輿

(ウ) 神興

問179

節句の日、菖蒲湯（しょうぶゆ）に浸かり、無病息災と【 邪気払し 】をする。

(ア) 邪気生い

(イ) 邪気払し

(ウ) 邪気払い

問180

山間の静かな温泉街で、川のせせらぎを聞きながら【 風定 】を味わう。

(ア) 風生

(イ) 風情

(ウ) 風定